

〔Daily 日本史〕 ～文化の流れ～

【問】 2002 年 慶應義塾大学 法

次の文章を読み、空欄(a)～(l)を埋めるのに最も適当なものを語群の中から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

日本における学問・教育の歴史は、大和政権期に本格的な幕開けを迎えたとされている。渡来人により漢字が用いられるようになり、6世紀には仏教や儒教が伝えられた。

さらに602年には百済の僧(a)が来朝し、暦法などをもたらした。その後も、大陸との交流を通じて、日本の学問・教育制度は整備されていったが、それは支配者層を中心としたものであり、いわゆる庶民の教育はまだ行われていないに等しい状況だった。奈良時代の仏教は、律令国家の統制下で教理研究などに主眼を置くものであり、民間への布教はあまり活発ではなかった。そのような中で、光明皇后の貧民救済、法均とも号した(b)の孤児養育などの活動は、仏教思想に基づいた社会事業として注目に値する。

7世紀後半に始まったとされる大学での学問・教育は、平安時代にはいつそう盛んになり、一族の子弟教育の充実を図るため、大学別曹を設ける有力諸氏も現れた。

これに対し、空海が開いた僧俗共学の(c)は、庶民の入学も念頭に置いていたという。

鎌倉時代以降、禅宗が武士のみならず、庶民の間にも浸透するようになったのは周知のとおりである。一方、旧仏教各宗にも、忍性のように奈良に(d)を建て、病人の施療にあたるなど、社会事業に尽力する僧侶が現れた。また、室町時代に『(e)』と呼ばれる辞書が刊行され、江戸時代にはその異本が200種類近く存在するほど普及していた。このことから、当時、日本全国に読み書きの教育が着実に広がっていたことがうかがわれよう。

江戸時代の教育機関には、武士を対象にしたものとして、幕府直轄の学問所、藩校、私塾、(f)などがあった。ただし(f)には、藩士子弟の教育だけではなく、藩の援助により庶民の教育を目的としたものもあった。庶民教育の中心を担ったのは、(g)の『一掃百態』にも描かれている寺子屋である。その経営者や教師は、武士から町人にいたるまでさまざまであり、開業に際して特に条件や資格は必要とされなかったという。庶民に対する教育は、儒教道徳を基軸として読み書き算盤を教えるものが主流だった。

18世紀になると、儒教道徳に神道と仏教を融合した理念を平易な言葉で説いた石田梅岩が現れ、その教えは、門弟の要望をいれて『(h)』という一書にまとめられた。当時、武士に対しては朱子学が正統な学問とされていたが、国学、洋学などを講じる私塾などの数も年々増加していった。豊後国日田に開かれ、高野長英らが学んだ(i)は、身分階級の差をつけずに門戸を開放した私塾として知られている。また、1797年から幕府直轄となった昌平坂学問所も、もともとは(j)が上野忍岡に創設した弘文館という私塾だった。

明治時代になると、1872年に学制が公布され、教育制度は再編成された。学制の前文にあたる「被仰出書」は、国家への帰属よりも、むしろ個人の立身と国家の発展とをつなぐ機関として学校の役割を位置づけ、国民皆学を提唱した。一方、障害者のための教育にも目が向けられ、ミルやスマイルズの翻訳などで著名な(k)も、イギリス人宣教師フォールズらとともに、後の訓盲院の母体となった楽善会を1875年に組織した。明治初期の教育制度が、必ずしも富国強兵の実現のみを目標にしていたわけではなかったことにも注目すべきだろう。1879年の(1)は、画一的な学区制を廃止し地方の実情を尊重した教育を目指すなど、自由主義的な特色を有していたが翌年には改正され、その後、近代日本の教育理念は変容していった。

〔語群〕

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 01. 童子教 | 02. 橘三千代 | 03. 西周 |
| 04. 懷徳堂 | 05. 節用集 | 06. 学校令 |
| 07. 曇徴 | 08. 明倫舎 | 09. 柳子新論 |
| 10. 林道春 | 11. 司馬江漢 | 12. 中村敬宇 |
| 13. 悲田院 | 14. 講武所 | 15. 恵聡 |
| 16. 流心洞 | 17. 林信篤 | 18. 庭訓往来 |
| 19. 学習館 | 20. 津田真道 | 21. 綜芸種智院 |
| 22. 谷文晁 | 23. 教育令 | 24. 観勒 |
| 25. 職原抄 | 26. 林復斎 | 27. 審祥 |
| 28. 適塾 | 29. 稽古談 | 30. 北山十八間戸 |
| 31. 林春斎 | 32. 藤原百川 | 33. 施薬院 |
| 34. 教授館 | 35. 出定後語 | 36. 奨学院 |
| 37. 橘嘉智子 | 38. 郷学 | 39. 林子平 |
| 40. 古道大意 | 41. 極楽寺 | 42. 応安新式 |
| 43. 高橋景保 | 44. 勸学院 | 45. 和気広虫 |
| 46. 良弁 | 47. 中江兆民 | 48. 養賢堂 |
| 49. 別院 | 50. 芝蘭堂 | 51. 采覧異言 |
| 52. 渡辺崋山 | 53. 三十三間堂 | 54. 教育勅語 |
| 55. 咸宜園 | 56. 大和西大寺 | 57. 酒井抱一 |
| 58. 加藤弘之 | 59. 橘奈良麻呂 | 60. 実語教 |
| 61. 弘文院 | 62. 花畠教場 | 63. 都鄙問答 |
| 64. 林述斎 | 65. 鳴滝塾 | 66. 学館院 |
| 67. 教学大旨 | 68. 貞永式目 | 69. 開成所 |
| 70. 森有礼 | 71. 恵慈 | 72. 茅上娘子 |

【解答】

a	24	b	45	c	21	d	30
e	05	f	38	g	52	h	63
i	55	j	10	k	12	l	23